

## 令和元年度第1回新宿区東京2020大会区民協議会 会議概要

### <開催日>

令和元年5月21日（木）

### <場所>

新宿区役所本庁舎5階 大会議室

### <出席者>

新宿区東京2020大会区民協議会委員（22名）

村岡功、鈴木章生、渡邊哲意、山田和男、有村尚樹、古川哲也、青山豊、安齋正義、丸山由美子、今井康之、小林優子、小川定弘、鈴木和成、太田正一、的場美規子、李承珉、山本芳裕、吉住健一、寺田好孝、鈴木昭利、酒井敏男、三井梨紗子

事務局（1名）

浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長

### <開会>

#### 【村岡座長】

皆様、おはようございます。

本日はご多用のところご出席を賜り、誠にありがとうございます。

ただいまより、令和元年度第1回新宿区東京2020大会区民協議会を開催します。

次第に入る前に、新しい年度となり、委員の入れ替わりがありましたので、この協議会が設置された趣旨を改めて説明します。

この協議会は、2017年4月に設置されました。設置の趣旨は、区民や関係団体、新宿区が東京2020大会に向けて、一体となって地域の発展に取り組んでいくことです。そのため、この協議会において、情報共有あるいは連絡調整を行ってきました。さらに、協議会のもとに部会を設置して、地域の自主的な取組みの促進、大会に向けた新宿の事業の推進について、より具体的な協議を行ってきました。

昨年度は、東京2020大会に向けた実質的な取組みの推進について、各部会で検討し、その検討結果が、先日行われた大会500日前記念イベントへの参画や協力に活かされています。今年度も、そうした協議・検討を行って、大会に向けた取組みを推進させていきたいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

それでは、次第に沿って進行を進めます。

次第の1、新委員の紹介です。

この協議会は、大会2020年度まで設置されることとなっています。委員の任期も2020年度末まで続きますが、その間、人事異動等による入れ替わりもあろうかと思えます。今回、6団体において、委員の入れ替わりがありましたので、新しい委員を紹介します。

## <新委員の紹介、委嘱状の交付>

### 【村岡座長】

ありがとうございました。

新しく委員になられた方々、どうぞよろしく申し上げます。また、新宿区議会からの委員2名については、区議会の改選により議長等の役職が未定のため、今回は欠席となりますので、ご承知おきください。

次に、次第の2、大会500日前記念イベントについてです。

3月3日に西新宿小学校にて、新宿区主催の500日前記念イベントが開催されました。この協議会の委員の中にも、出席者として参加された方、あるいは、様々な形で協力をいただいた方がいらっしゃると思います。そうした方々のご意見等をお聞きしたいと思いますが、まずは、イベントの実施概要について、事務局より説明をお願いします。

### 【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

それでは、事務局から説明します。

資料3「大会500日前記念イベント実績報告」をご覧ください。

1ページをお開きください。今回のイベントは、「新宿区主催 東京2020オリンピック・パラリンピック500日前記念イベント ～新宿から世界へ～ キミがかがやく夢・チャレンジ!」というタイトルで実施しました。このイベントは、東京2020大会組織委員会の参画プログラムの認証を得て実施したものです。開催日時は本年3月3日、会場は、西新宿小学校ほかで開催しました。当日の来場者数は、2,000名でした。

2ページをご覧ください。続いて、開催概要です。

主催が新宿区、共催が公益財団法人新宿未来創造財団です。また、東京2020大会のマーケティングパートナー12社のご協力をいただいています。また、その下に記載している22の団体は、イベントの中でのブース出展や体験プログラムの提供などでご協力いただきました。

4ページをご覧ください。4ページ以降に、当日の実施内容を掲載しています。

まずは、世界を舞台に戦ってきたオリンピックの方々、アスリートの方々によるスポーツ教室です。こちらは、当日整理券を配付し、定員制で行ったものです。当初は、校庭で行う予定でしたが、当日雨のため、急遽体育館の中で実施しました。

5ページをご覧ください。

こちらは、整理券なしで、自由参加で楽しめる体験ブースです。

6ページをご覧ください。

こちらは、文化関係の体験ができるコンテンツです。

おひるねアートは、乳幼児のお子さんから体験できるプログラムです。また、新宿の地場産業である染め物の体験も実施しました。

7ページをご覧ください。

こちらには、中学校側の体育館で実施したステージイベント等をまとめています。トークシ

ョーや小・中学生によるコンサートも実施しました。それから、第1会場と第2会場の渡り廊下の部分では、ウォールパズルアートとして、参加者の方々に作品の制作を楽しんでいただくブースも設けました。また、会の最後では、みんなで踊る東京五輪音頭ということで、みんなで五輪音頭を踊って締めくくりました。

8ページをご覧ください。

こちらは、主に屋外で実施したコンテンツです。ハカリピックは、地元の十二社商店親睦会の皆様に出展していただいたもので、実際に競技で使う道具の重さなどを体感してもらうブースでした。しかし、当日は写真のとおり、皆様傘を差している状況で、なかなか校庭に誘導できませんでした。

9ページをご覧ください。

その他のものとして、オープニングでは、早稲田大学ファルコンズのチアリーディングや、西新宿小学校の児童による和太鼓演奏等を行いました。また、フィナーレでは、元サッカー日本代表監督のジーコ氏にお越しいただき、集合写真で最後を締めくくりました。

11ページをご覧ください。

大会500日前記念イベントについては、昨年のボランティア部会での議論も踏まえて、ボランティアの方を初めて募集しました。区の広報紙等で募集を行い、31名の方から事前の申込みがありました。事前説明会に出席された26名の方に当日、スタンプラリーのスタンプ係や、折り鶴コーナーで参加者と一緒に折り鶴を折っていただくという内容で、活動していただきました。

それから、イベントのアンケート結果についてです。こちらは、当日、委員の皆様イベントをご覧ください、感じたところをご記入いただいたアンケート結果をまとめたものです。いくつか、ご意見を紹介させていただきます。

まず、イベント企画全般としては、今までのように単にイベントに出席するだけでなく、参加しているように思われた点が良かった。それから、第2会場の隅の折り鶴を折るというブースで、しっかり役割をこなしているボランティアの方に感動した。また、雨天のため、プログラムの変更や中止があり、残念だった。以上のようなご意見をいただきました。

続いて、広報やイベント告知についてのご意見を紹介します。チラシの中にボランティア募集を盛り込んでみてはどうか、また、イベントのチラシが幼稚園で配付されたが、ボランティア募集について知る機会がなかったというご意見をいただきました。

実際のイベントのチラシですが、コンテンツが非常に多く、紙面がかなり混雑する点を勘案し、ボランティアは広報での募集とさせていただきます。そのため、ボランティア募集について、周知が不足した部分があったと思いますので、今後のイベントで反映していきたいと考えております。

また、イベント運営の実施状況についていただいたご意見です。

第1会場のチャレンジゾーンは、小学校側の校庭で、協賛企業のブースを中心としたスペースでした。晴れていれば、すばらしい、イベントの顔となるゾーンだったというご意見をいた

だいています。

第2会場については、主に文化関係のコンテンツを配置していましたが、当日は雨だったため、校庭で実施予定だったアスリートのスポーツ教室等のコンテンツを、こちらで実施しました。そのため、狭い会場で、多くの人で混雑していたという状況でした。

また、第3会場では、主にステージイベントやトークショー、コンサート等を実施しました。こちらは、動線がわかりにくかったというご意見がございました。確かに、動線が1本しかなく、かつ道幅がかなり狭かったため、少し来場者の誘導に難があったと思います。それから、混み合っていた第2会場のコンテンツをこちらで行っても良かったというご意見もありました。この点は、事前の想定や準備が足りなかったと感じています。

また、設営についていただいたご意見を紹介します。車椅子の方々の動線が確保されていなかった、また、雨でグラウンドが使えなかったことによって、会場が変更になったことの案内表示がわかりづらかったため、いづどこで何のプログラムをやっているかわからず困ったというご意見をいただきました。こういった状況が生まれてしまったことは、次回に向けて反省したいと考えています。

最後に、ボランティアの活動状況についてですが、誰がボランティアなのかわかりづらかったので、服装で区分できるようにすれば良いのではないかとご意見をいただいていますので、この点についても、今後のイベントの中で反映していきたいと考えています。

#### 【村岡座長】

ありがとうございます。

当日はあいにくの雨のため、来場者は目標としていた数には達せず、2,000名程度でしたが、アンケート結果にもあるとおり、概ね好評だったのではないかと思います。一方で、いくつか反省点もありますので、課長からのご説明のとおり、次回にこれを生かしていきたいと考えています。

それでは、ここで、全体の意見交換の時間を持ちたいと思います。このイベントに参加した委員の方々から、何かご意見等をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

では、特別アドバイザーである三井委員から、感想などをお聞かせいただければと思います。前回に引き続きゲストとして参加していただき、これまでに比べてどうだったのか、あるいは、今後どのように関わっていきたいとお考えでいらっしゃるのか、そのあたりを含めてコメントをいただきます。

#### 【三井特別アドバイザー】

皆様、おはようございます。リオデジャネイロ・オリンピックに出場しました三井梨紗子です。本年度もよろしく願いいたします。

500日前記念イベントには、ゲストとして参加させていただきました。私だけではなく、オリンピックメダリストの方やサッカーの日本代表の方、そしてジーコ監督といったそうそうたるゲストの方々が新宿区に来て、イベントをお手伝いして下さったことは、新宿区出身として、すごく誇らしく、そういった様々な活動をされているゲストの方々を集めて下さった皆

様にも感謝しています。

参加した感想としては、本日のようなあいにくの雨で、私たちゲスト側も本当に人が集まるのかとすごく不安でしたが、雨の割に多くの方が集まってくれて、嬉しかったという印象です。

一方で、雨天のためのプログラム変更等が多く、それがあまりゲストの方にまで伝わってこなかった点が残念でした。プログラム内容や時間の変更等の案内が不足していたため、ゲスト側としてどのように動けばよいかという混乱がありました。雨天だったからこそ、その点をもう少し詳しく伝えていただけたら動けたと思います。また、動線が狭く、スタッフもいなかったため、お客様に呼び止められてその先の教室への移動が遅れ、取材等の仕事に間に合わなかったことがありました。この点についても、円滑に動くように、制御してくれるスタッフの方がいたら、より良かったのではないかと思います。

良い点としては、最後に東京五輪音頭を皆さんで踊り、一致団結したことがあります。みんなでやるということが、私自身もすごく楽しかったですし、完璧には踊れないのですが、様々な方々が踊るのを見よう見まねで、みんな入ろうよという輪ができ上がっていったことが、すごく良かったと思います。

ところで、私はこのイベントの次の日から2か月間、シンクロの指導と語学の勉強のため、マルタ共和国というヨーロッパにある小さな島国に行ってきました。

現地では、東京でオリンピックがあるということは知られていて、子どもたちの多くが見に行きたいと思っているのですが、どうすれば良いかわからないと言う状況でした。私は、自分がわかる範囲でその方法を伝えると同時に、海外に向けたそういった発信を自分自身もあまりしてこなかったことを反省しました。

また、マルタ共和国は、アーティスティックスイミング競技がそんなに強い国ではなく、全然やったことがなかったり、まだ基礎的なことができない子どもたちが多くいます。シンクロの動きや演技について、現地で指導することはできますが、私が2年間、3年間そこにずっといることはできません。また、日本からのアプローチは少なく、世界全体でもコーチ不足が問題になっています。

そういった中で、東京オリンピックの周知に関わることで少しでも自分ができることとして、海外のコーチや選手に向けて、アーティスティックスイミング競技の普及活動を含めた、技術力を向上させるためのSNS上での発信を始めました。

#### 【村岡座長】

ありがとうございました。

貴重なご意見をいただきましたので、ぜひ250日前記念イベントの際には、改善がなされるよう取り組んでいただきたいと思います。

新宿区として、海外への発信という取り組みを行っているかどうか、教えていただけますか。

#### 【吉住委員】

海外への発信については、新宿観光振興協会の方にかかり担っていただいている、海外における観光情報誌のような媒体に新宿の情報を載せるといったことを行っています。

外国の人は、新宿観光振興協会や新宿未来創造財団のホームページをあまり見ないと思いますので、区の方からリンクを貼れるようにしたり、また、振興という文字が入ることによって、なかなかうまく検索できない可能性もあるので、新宿・観光と検索すればヒットするような工夫をしながら、その中でオリンピック・パラリンピックに関する事業や文化プログラム等について発信できるよう、今いただいたお話ももとに改善していきたいと思います。

**【村岡座長】**

ありがとうございました。

それでは、他の委員の方々から、何かコメントはありますか。

**【委員】**

雨天のため、プログラムの変更や会場づくりなど大変だったと思います。まず、イベントに関わった全ての方々に感謝します。

今回も娘と参加した中で、残念だったことが2つあります。

1点目は、アンケートにもあったように、やはり来場者の誘導・案内が不十分で、プログラムや会場の変更に困惑している方が多く見られたことです。先ほど、三井委員も仰っていたように、会場スタッフの声かけやアナウンス、変更したプログラムをその場に掲示するなど、臨機応変な対応が必要だったかと思います。また、お子様連れですと、やはり雨の中の移動はすごく大変で、加えて会場が土足禁止でしたので、その都度靴を脱いだりするのもしごく大変で、靴が濡れているお子さんも多く見られました。次回はその辺りも工夫をしていただければと思います。

2点目として、せっかくキッチンカーが出ていて、寒い中、温かいものなどを食べたい方もいたと思いますが、飲食用のテント等の設置が少なかったのも、そこで食べられるという状況ではありませんでした。

次回の250日前記念イベントは11月で、悪天候も予想されるので、そういった反省点を今後のイベントに活かしていただきたいと思います。

**【村岡座長】**

ありがとうございました。私も感じた点ですので、今仰られた点については、ぜひ次回、改善されるように取り組んでいきたいと思います。

ほか、いかがでございましょうか。

**【委員】**

私も当日、参加をさせていただきましたが、西新宿小学校の和太鼓からオープニングが始まり、大変な感激の中でその後のイベントも続き、フィナーレを迎えることができたのではないかと思います。

私どものブースでは、ダイバーシティ・ウォールパズルアートをやらせていただき、参加された方に缶バッジをプレゼントしたところ、約400人の方々に来ていただくことができました。雨の中、傘を差しながら参加をいただいたので、皆さん大変だったとは思いますが、そのようなにぎわいを見せることができました。

ただ、アンケートにも書かせていただいたとおり、やはり東京2020オリンピック・パラリンピック大会の500日前記念イベントとして、障害をお持ちの方々が来られたときに、会場内を自由に移動することができなかった点が非常に残念でした。以前の東京オリンピックに感動を覚えた高齢者の方々の中には、今回の東京オリンピックに参加したいとお考えの方がいらっしゃると思いますし、中には、車椅子に乗られている方やお身体が不自由な方もいらっしゃると思います。小・中学校は構造上、エレベーター等の設置は難しいと思いますが、動線を確保するというところは、次回の250日前記念イベントでは、気をつけていただきたいと思います。

**【村岡座長】**

ありがとうございます。

貴重なご意見だと思います。今後に反映させていただきます。

**【委員】**

今回、新宿区体育協会としては、4団体が参加させていただきました。出展した団体からは、いずれも出展してよかった、楽しかったというお話を聞いています。

特に今回、これまでの1000日前記念イベントや777日前記念イベントのように、単純にある企画に我々が参加する、出席するという形ではなく、自分たちから手を挙げて参画ができたというところに、非常に充実感と達成感を感じたようでした。

この話を理事会で話した段階で、ほかの団体からも、ぜひ今度は我々も参加したいという声が上がりましたので、このような形で参画できる企画ということが、より一層の効果を生むのではないかと思います。

また、何回も反省点が上がっていますが、雨天に伴い、サッカーやグラウンドゴルフは外で行う予定から室内に変更になったため、ある程度の戸惑いがあったとともに、室内で行うイベントの団体の方も、やはり外で行う予定のものが中に来るので、若干のしわ寄せがあり、困惑したというお話を聞いております。今後の対策としては、何回も話に出ておりますが、雨天のときの対策も少し念頭に入れて計画をしたら、もう少し改善できるのではないかと思います。

**【村岡座長】**

ありがとうございました。

**【委員】**

愛日小学校で実施された大会777日前記念イベントと比較して、区内の様々なエリア、それから中学校や大学を含めて、色々な団体を巻き込んだことにより、雨天で集客が少ないなりに、新宿区の幅広いエリアから集客できていたというのが、今回非常によかった点ではないかと思えます。

また、小学校の一保護者としては、今回、中学校の演奏が複数入っていた点が非常にありがたく、中学校の特色を見られる機会というのが非常に参考になりました。西新宿小学校では、多くの児童が西新宿中学校に進学するのですが、西新宿中学校の吹奏楽と落合地区の中学校の吹奏楽が出ていて、同じ吹奏楽でも環境によって状況が違うことがわかりました。西新宿中学校は、中学校に入って初めて吹奏楽を始めて、頑張っようやく演奏ができるようになった子

どもたちが一生懸命演奏しているのに対して、落合地区は小学校から吹奏楽をやっている子どもたちが多いので、実力差がすごくはっきりしていました。中学は学校選択制が残っているので、吹奏楽をやりたい子どもたちの中には、このイベントの演奏を聞いて、落合の中学校に行こうと考えた子どもも多かったのではないかと思います。

新宿の広域を巻き込むというのが、今回の一つの成果だったと思いますので、次回の落合地区でやられる大会250日前記念イベントに関しても、雨天のBプランを考えるということとあわせて、進めていただければと思います。

**【村岡座長】**

ありがとうございました。

まだまだご意見あるかと思いますが、他に何かありましたら、また事務局に仰っていただくか、あるいは部会で取り上げていただければと思います。

両部長からは、何かコメントありますでしょうか。

**【渡邊部会長】**

東京2020大会普及啓発部会としては、500日前記念イベントは、できるだけ委員の皆様の団体が参加できる流れを作ることができた最初の形になったと思いますので、これが次回につながっていくと良いと思っております。

また、宝塚大学としては、音楽関係のところで色々と協力をさせていただきました。北京オリンピック・パラリンピックのテーマソング作曲者の菊池圭介さんですが、この方は、もともとTHE ALFEEのキーボードを担当されていた方です。日本国内では、エイベックスのアレンジャーとして、浜崎あゆみさんやhitomiさんの曲を作っていた方です。オリンピックはやはりスポーツのイメージが強いですが、開会式・閉会式など音楽の祭典といった要素もあります。そういった空気感をお伝えしたいということで、菊池さんをお願いして、トークショーの中で北京オリンピック・パラリンピックのテーマソングに採用された楽曲を流させていただきました。時間の制約もありましたが、菊池さんの方からも、今後も新宿区に協力できたらというお言葉をいただいております。

それから、大学の方も、宝塚大学だけではなくて、早稲田大学や目白大学、桜美林大学など、様々な学生に多く参加していただきました。この学生が参加する流れも、また非常にありがたいことで、当日いろいろ変更になった部分も、学生は非常によく対応してくれていたと思います。

また、今回宝塚大学では、ステージの照明等も担当させていただきました。急遽、オープニングやエンディングが体育館の方に移動してきたという中でも、五輪のイメージを出そうということで、五輪カラーの演出を試みたり、もしくは吹奏楽のステージのところでも、演出として、もっと動くような照明にしてみたり、非常にムードよくできたと思いますので、またこういった協力ができればと思っています。ありがとうございました。

**【鈴木副座長】**

大会500日前記念イベントに関して、色々と皆様方からご意見等出ていましたが、ボランテ



エア関係では、会場に行ったときに、誰がボランティアなのかわかりづらいという問題点が最も出ていたと思います。

今回、雨天ということもあり、室内にイベントがかなり集約されたため、来場者も予想よりは減っていましたが、室内はかなり混雑、混乱をしていました。その中で、例えば傘はどうするのか、靴はどうするのか、ベビーカーはどこに置けば良いのか、といったことを誰に聞けば良いかわからない、という状況であったと聞いています。

私も現場に来て、これは大変だなと直感しました。後で色々と話を聞きましたが、新宿側の担当者が3、4人ほどで、それぞれが小学校、中学校、グラウンドと張りついている状況でした。ボランティアの方は、当日の指示系統等がなかなか伝わりにくかったというようなこともありました。

このように、誰に聞けば良いかという来場者側の声に加え、何をどう変更して、どう対応すれば良いかといった指示がかなり錯綜していたので、誰がボランティアで、誰がスタッフなのかということが一瞥できるように、着るものや首から下げるカード、キャップ等の視覚的にわかるものがあつた方が良いのではないかという意見が出ました。これは、夏場なのか冬場なのかによって変わってくるかと思いますが、そういう対応が必要ではないかと思います。

それから、今後のイベントに向けた検討課題になるかと思いますが、来場した方に、快くスムーズに案内が伝わるように、現場で臨機応変に対応できるような、事前の研修プログラムを用意して、突発的な事態が起こった場合には、どうすればうまくいくかをシミュレーションしながら、対応することが重要ではないかと思います。

こういった点を今年度の課題として、次につなげていきたいと考えています。

#### 【村岡座長】

ありがとうございました。

本当に、様々な貴重なご意見をいただき、改善点も見えてきたのではないかと考えます。

また、今、鈴木部会長からもお話ありましたように、新たな提案もあるかと思うので、それらについては、各部会において、今後ご検討いただき、次に開催される大会250日前記念イベントをより良いものにしていただければと思います。

本当にありがとうございました。

それでは、次に、次第の3、大会気運の醸成に関する区の実施について、進めさせていただきます。

では、事務局から説明をよろしく申し上げます。

#### 【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

それでは、説明させていただきます。

お手元、資料4「新宿区における東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えた取組」をご覧ください。

新宿区では、東京2020大会の気運醸成事業のほかにも、東京2020大会を好機と捉えて実施する事業や、開催時期を目指して取り組む事業を、全庁的に実施しています。

本日、各関係課長も出席させていただいておりますので、各部で実施する事業の主なものを紹介したいと思います。

まず、生涯学習スポーツ課長から順にお願いします。

**【宮端生涯学習スポーツ課長】**

それでは、生涯学習スポーツ課で取り組む事業について紹介させていただきます。

資料4の4ページをご覧ください。

「101 スポーツ環境の整備」です。①スポーツコミュニティの推進ですが、こちらは様々な団体や組織、民間事業者等と協力して、スポーツの推進を進める事業でございます。オリンピック・パラリンピックに向けて、様々な子ども向け、大人向けのスポーツ体験のイベントなどを実施する予定です。

元日本代表の選手などにも来ていただき、水泳、卓球、バスケットボール、バレーボール、車椅子バスケットボール、体操、陸上競技、野球、サッカー等の体験をしていただくような事業を予定しています。それから、特に障害者スポーツの中でも、最近子どもたちを中心に区内でも広く普及しているボッチャの体験イベントや、障害者スポーツの指導員の養成講座といったものも積極的に開催していく予定です。また、気運醸成という観点から、スポーツをするだけでなく、スポーツを科学的に分析して、見る楽しみの理解を深めていただくような企画展示も考えています。また、見る楽しみを知っていただいた上で、さらに体験をしていただくようなイベントなども実施していく予定です。

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成と、大会後の未来に向けても、こういったスポーツを通じて、地域交流の促進、コミュニティの活性化を目指して、取り組んでいきたいと考えています。

**【井出障害者福祉課長】**

本年度、障害者福祉課の方で実施する気運醸成の2事業について紹介させていただきます。

第一に、サービス介助基礎研修です。こちらは、東京2020パラリンピックを契機として、障害がある方や高齢者とのコミュニケーションづくりに向けて、サービス介助の基礎知識と実技を体験するものです。日程は、6月27日（木）と6月29日（土）で、会場は新宿区役所本庁舎又は第二分庁舎分館です。各回25名という定員で予定しています。修了された方には、修了証とバッジを贈呈する予定です。

第二に、パラリンピックの歴史や競技の紹介を通じて、障害者スポーツの魅力を発信しまして、大会後のバリアフリーや共生社会の実現について考える講演会を開催する予定です。本日は、まだチラシを用意できませんでしたが、内容としては、パラリンピックの全22競技の映像による紹介、障害者スポーツを取り巻く環境等について、公益財団法人日本障害者スポーツ協会常務理事の高橋秀文様の講演を予定しています。日時は、本年の11月2日（土）午後2時から2時間程度、場所は、新宿文化センター3階の小ホールを予定しています。

両事業とも、東京2020参画プログラムに登録済みです。詳細については、参画プログラムのホームページの方からも確認できますので、ご一読いただければと思います。

### 【小泉文化観光課長】

文化観光産業部の取組みについて説明させていただきます。

まず、資料4の3ページをお開きください。

「85 観光と一体となった産業振興」です。こちらは、インバウンド等を意識した、しんじゅく逸品の開発を支援し、しんじゅく逸品マルシェを開催して、新宿の産業を区内外に広く発信していくものです。

4ページをお開きください。

「90① 新宿フィールドミュージアム」は、新宿の多様な主体による文化芸術イベントを集約し、新宿フィールドミュージアムとして実施して、新宿のまちの魅力を発信していきます。これは、昨年9月から11月に行っていましたが、今年度から、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催期間に合わせて、7月から11月に開催する予定です。

次に、「90② 和を伝えるプログラム」は、外国人観光客などに華道、茶道のほか、新宿区の絞り染めの体験などを実施しまして、繰り返し新宿区に訪れたいくなる取組みを行っていきます。

続いて、「92 新宿フリーWi-Fiの整備等」です。こちらは、訪日外国人の旅行者から特に要望を多くいただいている公衆無線LAN環境の整備で、今年度末に、主要駅周辺を中心に38基の設置を予定しています。

「94 新宿観光案内所のサービス拡充」は、2016年12月に、新宿駅東南口に開設した新宿観光案内所を情報発信の拠点として、各エリアの魅力を提供して、区内回遊性を高めていきます。

「95 多彩な観光資源を生かした区内回遊の促進」です。こちらは、区内の文化財や博物館といった文化資源をデータ化し、観光資源情報検索システムの構築に今年度取り組み、令和2年度からの運用、一般公開を予定しています。こういった文化財を観光資源として活用して、区内の回遊を促進していきます。

「96 観光案内標識の整備促進」です。区内外からの来街者の皆様が、迷わずに目的地にたどり着けるように、区内の主要駅周辺に観光案内標識の整備を進めて、今年度末で31基の設置を予定しています。

最後に、「97 新宿ブランドの創出に向けた取組」です。

以上のような事業を行いながら、新宿ブランドの創出に向けた取組みを進め、国際観光都市・新宿としての魅力を向上してまいります。

文化面、観光面、また産業面から、東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えた取組みを行っていきます。

### 【関口土木管理課長】

続きまして、みどり土木部で担当している事業について説明させていただきます。

主に、ハード整備を担当しており、景観的な道路づくり、それから回遊性等を整備していきたいと考えています。

はじめに、1ページをご覧ください。「51 道路の無電柱化整備」です。電線類を地下に埋

設し、電柱を撤去することによって、災害に強いまちづくりを進めるとともに、歩行空間のバリアフリー化、美しい都市景観の創出を図ります。今年度は、信濃町駅周辺地区、周辺の区道ほか3路線で管路工事、それから道路築造工事を実施します。また、女子医大通り等の3路線についても、設計等の業務を行います。

2ページをご覧ください。

「71① 補助72号線の整備」です。新宿駅付近から高田馬場駅付近を結ぶ補助72号線については、未整備区間となっている箇所があり、職安通りから大久保通りの道路工事を今年度実施します。

続いて、「72③ バリアフリーの道づくり」です。東京2020オリンピック・パラリンピックを見据え、主要駅周辺、国立競技場周辺のバリアフリー対応を進めるために、今年度、新宿区周辺地区で3路線、それから、国立競技場の周辺地区で2路線において、視覚障害者誘導ブロック等を設置します。

3ページをご覧ください。

「74 自転車通行空間の整備」です。歩行者、自転車、自動車、それぞれが安全に安心して通行できるよう、自転車の走行空間を整備します。今年度は、神宮球場前、すなわちスタジアム通りの整備工事等を行います。

「78 新宿中央公園の魅力向上」です。新宿中央公園の特色や魅力をさらに活かした公園づくりを進めるために、今年度、公園の北エリアにある芝生広場等の整備工事、眺望の森等の設計のほか、民間事業者による交流拠点施設の設置工事等を実施します。

最後に、「81 清潔できれいなトイレづくり」です。東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、マラソンコース沿道など、公園トイレ及び公衆トイレを、誰もが利用しやすいものに整備していくものです。今年度、牛込見附公衆トイレほか4か所で多機能型のトイレを設置し、また、大規模公園トイレほか16か所で洋式化トイレの整備を行います。

#### 【野澤都市計画課長】

続きまして、都市計画部関連の事業を説明します。

都市計画部では、防災に強く、皆さんが暮らしやすく、にぎわいのあるまちを実現する活動をしています。その中で、主なものとして、2ページをご覧ください。

2ページの冒頭、「66 新宿駅周辺地区の整備推進」について、細かい事業が①から⑥まであります。皆様ご存じのとおり、新宿駅は通常、350万人を超える利用客が日々行き交います。

まず、「66① 新宿駅直近地区のまちづくり」として、東口、西口、それぞれ昭和40年代に今の状況ができたところですが、既に建物の老朽化、それから、歩いて利用するには向かないような設えとなっています。この点について、西口、東口広場の再整備や老朽化した建物の更新化に向けて、今後、都市計画手続を進める中で、更新を図っていきたいと考えています。

次に、「66② 新宿駅東西自由通路」については、現在、JR東日本のコンコースである地下の通路を、来年度のオリンピック・パラリンピックの開催までには自由通路として皆様が利用できるように工事を進めているところです。

それから、「66③ 新宿駅東口広場等の緊急整備」についてです。東口の広場周辺が、休日・夜間に多くの来街者でごった返すような状況です。この点について、来年度、東西自由通路の供用開始・開通に合わせて、まずは緊急整備ということで、交番付近の空間をさらに広げようという形で2020年内の供用開始に向けて準備をしているところです。

また、「66④ 新宿通りのモール化」についてです。新宿通りも歩道が狭く、現在、多くの来街者で通行がしにくいような状態も見られます。この点を、できるだけモール化して、歩行者に優しい歩行空間を実現していくために、なるべく荷さばきの車などの適正な誘導を図りながら、歩道空間を確保する取組みを行っているところです。

「70 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」です。現在のところでは、新宿駅は、私鉄、地下鉄、JRと各鉄道事業者が乗り入れている中で、様々な駅の案内表示が今までであったところですが、利用客からは、各社不揃いな案内表示などがわかりにくいというご意見もあり、各社共同のコンセプトのもと、看板のつけかえ等を行い、現在、ほぼ整備が完了しています。その他に、来年度からは、条例を制定して、建物等の整備に当たって事前協議を行っていたいくという新たな取組みも準備をしているところです。

3ページをご覧ください。

「76 安全で快適な鉄道駅の整備促進」です。こちらは、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催、また、その後の新宿のまちの行く末を見据えて、多くの方々が利用される鉄道駅について、安全で快適な利用空間を整備するために、鉄道のホームドアの整備を行います。それから、バリアフリーの一環で、エレベーターの整備について、助成制度などを活用して整備促進するような活動をしています。

このようなことで、皆様にとって、安全で快適な利用しやすい新宿のまちづくりを進めているところです。

#### 【齊藤教育調整課長】

教育委員会の取組みについて、紹介させていただきます。

お手元の資料4の1ページをご覧ください。

「32 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした教育の推進」としては、4つの事業があります。

まず、「32① 英語キャンプ」は、英語だけの環境に身を置く2泊3日の宿泊体験であり、小・中学校それぞれで実施しています。中学校は夏の期間、小学校は冬の期間に実施しています。

「32② 伝統文化の理解教育の推進」は、日本の伝統文化の体験や講座の受講といった内容です。小学校では、講師を招いて伝統文化の体験教室を行い、中学校では、新宿ものづくりマイスター体験講座や和楽器の演奏体験を実施します。

そして、「32③ 障害者理解教育の推進」は、各学校における障害者スポーツ選手との交流や障害者スポーツの体験等です。

「32④ スポーツギネス新宿の推進」は、スポーツの関心と体力向上を目指し、リフティン

グやダブルダッチなどの記録に子どもたちが挑戦するものです。

以上4つの事業を今年度も継続していきます。

そして、今年度、教育委員会では、中学生のボランティア活動や東京2020大会への気運醸成を目的とした2つの新しい事業を実施します。

一つ目が、東京2020おもてなしボランティア体験事業です。これは、中学生を対象に、都市ボランティア体験イベントを実施するものです。新宿区内のマラソンコース沿道や新宿御苑などの観光スポットで、外国人観光客へのインタビュー、また新宿区の観光ガイドなどを、中学生に行っていただくといった内容です。

インタビューに答えていただいた外国人観光客には、東京2020大会のPR活動の一環として、公式ステッカーなどを配付する予定です。

そして、二つ目が、中学生が考える私たちのオリパラ事業です。こちらは、各中学校の生徒会に対して、東京2020大会の気運醸成に関連した生徒会活動の企画・運営をお願いするもので、生徒会が考えた主体的な取組みについて、教育委員会で支援をします。

そして、この各学校の取組みの成果については、生徒会役員交流会が発行する広報誌などを通じて、紹介していきます。

また、このほかにも、今回のオリンピックの新種目にもなっているスポーツクライミングを体験できる助木クライミングウォールといったものを全小学校に設置して、小学生の体力向上とともに、東京2020大会の更なる気運醸成を図りたいと考えています。

#### 【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

最後に、東京2020大会の気運醸成の事業について紹介させていただきます。資料5「東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けたロードマップ」をご覧ください。

こちらは、2020年に向けたロードマップで、時系列で示したものです。

続きまして、資料6「東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成に関する区の取組について」をご覧ください。

1ページに、本年度の気運醸成事業の全体像をお示ししています。

昨年度の区民協議会の議論も踏まえ、組み上げさせていただいたところです。普及啓発事業としては、7本の柱立てをしており、「体験イベント等の実施」「子どもたちの大会との関わりを創出する」など、全部で3億5,938万円という予算規模になっています。

これと別に、区民参画事業の助成事業として、5,000万円の予算となっています。

次の2ページをご覧ください。体験イベント等の実施です。

主な事業として、第一に、東京五輪音頭-2020-講習会です。5月16日からスタートし、6月7日まで区内10か所で講習会を実施しているところです。昨年度も区内5か所で実施しましたが、もっと多くの会場で実施してほしいという要望を受け、本年度は10か所で実施しています。また、昨年、踊り方が難しいという声もありましたので、本年度については、少し簡単な振りつけのバージョンについても、あわせて講座の中で行っています。

また、本来、皆同じ方向を向いて踊るような振りつけのスタイルになっているのですが、実

際に地域の盆踊りの中でやろうとする中で、どうしても輪踊りで行いたいという声もありましたので、本年度の講習会の中では、アレンジして、講習会の最後に皆で輪踊りで踊って締めるというような形で実施をしているところです。

第二に、ラグビーワールドカップのパブリックビューイングです。ラグビーのワールドカップが9月20日から11月2日までの期間で開催されます。この中で、日本戦のある日程ということで、今のところ、9月28日、29日の予定で、パブリックビューイングを開催したいと考えています。

第三に、先ほども紹介した大会250日前記念イベントについては、本年の11月を予定しています。詳細については、また今後の区民協議会等でご案内するとともに、部会の中でもご検討、ご議論いただきたいと思っています。前回の大会500日前記念イベントと同様、各団体様としての出展の希望や運営のお手伝いとして出ていただけるかどうか、今回もまた委員の皆様アンケートをとらせていただきたいと思っています。アンケート用紙については、また後日、委員の皆様にご直接お送りさせていただきますので、ぜひよろしくご検討いただければと思います。

次の3ページをお願いします。

子どもたち向けの気運醸成事業の1つ目として、絵画コンクールを実施します。区立小・中・養護学校の子どもたちに、大会をテーマとした絵を制作していただき、大会250日前記念イベントの中での表彰を予定しています。

また、2020年1月1日からパラリンピックの閉会式の日までが、ちょうど250日間あるのですが、その応募作品を活用し、この250日分の日めくりカレンダーを制作して配付したいと考えております。

それから、新宿駅周辺やマラソンコース沿道の電線の地中化をしたところに置いてある配電地上機器に、その絵を用いたラッピングをしていきたいと考えています。

続いて、陸上競技のシルエットシールの設置です。こちらは、区内の競技会場である新国立競技場で実施される陸上競技の世界記録や、アスリートのすごさがわかるシルエットシールを、区立小・中・養護学校に設置していきたいと考えています。設置は、今年の年末ぐらいになるかと思いますが、各校の体育館等に、棒高跳びや走り高跳びといった競技のシルエットシールを掲出していきたいと考えています。現在、宝塚大学にご協力をいただき、オリンピック競技とパラリンピック競技の両方のデザインの作成を進めているところです。

4ページをお願いいたします。

新宿区独自のボランティア登録制度として、新宿2020サポーターを創設し、既に募集をスタートしています。

5月15日号の区の広報紙でご案内をしたところですが、5月17日時点で20名程度の登録ということで、今後より増やしていきたいと思っていますので、各団体様におかれましては、周知等についてご協力のほどよろしくお願いいたします。なお、対象としては、区内在住・在勤・在学、区内で活動する団体に所属されている方で、中学生以上の方となっています。

5ページをお開きください。

区民参画事業助成の事業です。こちらも、既に申請受付を開始しています。東京2020大会が将来にわたって、皆様の記憶に残るものとするため、本年度と来年度の2か年に限定した事業として、大会気運の醸成に資する自主的な活動に対する助成制度です。

対象は記載のとおり、幅広い団体の皆様が対象になります。助成金額は、1件につき100万円、助成率は10分の10です。1回目の申請受付期間については、6月6日まで、2回目8月27日から9月26日ということで、本年度は、2回の申請期間を設けています。

それから、前回の協議会の中で、庁舎の装飾を行う旨のご案内をしましたが、既に完成しています。本庁舎は、1階区役所通り側の玄関を出たところにラッピングをしています。第一分庁舎は、交差点側の壁面に、ミライトワとソメイティのデザインを施しまして、夜になるとライトアップする仕掛けも設置しています。

また、本庁舎と第一分庁舎のエレベーターの扉についても、オリンピックとパラリンピックの競技の魅力を伝えるデザインのラッピングをしているほか、他の区施設でも様々な装飾を実施していますので、もしよろしければご覧いただければと思います。よろしく願いいたします。

#### 【村岡座長】

ありがとうございました。

より具体的な内容、取組みについて、ご説明いただきました。

予算の方も、区議会の議決をいただいて、普及啓発事業として約3億6,000万円、区民参画事業助成として5,000万円、合計で4億1,000万という多額の予算をもって、積極的に事業を推進できるのではないかと思います。また、東京2020大会に向けた取組みであるとともに、その先を見据えた取組みになっていると思いますので、ぜひ委員の皆様方にもご理解を賜りたいと思います。

ここで、区長の方からも、コメントをいただきたいと思います。色々な取組みを計画されている中で、特にこの点に注力して取り組んでいきたいということがありましたら、ご発言願います。

#### 【吉住委員】

本日も活発にご意見をいただき、ありがとうございます。

先ほど座長の方から、多額の予算を投じてというお話をいただきましたが、オリンピック・パラリンピックを契機にというよりも、なぜこれが恒久的に必要かということを考えて事業を組み立ててきました。そうした思いは、招致活動に関わらせていただいた都議会議員の時代から一貫して持っていて、この新宿区で行う事業に対しても同様です。

今回ここに載っていない経費も計上していますが、その中で、次の3つの方針を持っており、そちらについてここでご説明させていただきたいと思います。

1つ目は、今、日本橋の上空の高速道路をなくそうという運動がスタートしていますが、前のオリンピックが開催された当時は必要だったものです。しかし、歴史、時代の経過と施設の老朽化、景観に対する感覚の違い・変化といったことがありました。施設系のものは、必ずそ



ういった運命をたどることになりますが、スポーツ施設に関しては、これまでどうしても後回しになる傾向がありました。今回、国立競技場の敷地内に新宿区の土地があり、そこから毎年予算をいただいていますので、その金額の範囲内で施設の改修を行うとともに、それによって電気の照明代も下げていくという取組みを行い、スポーツに対するレガシーを残そう考えています。

2つ目は、新宿2020サポーターです。これからまた、少しずつ普及していけるものと思っていますが、ボランティアは色々なところにきっかけ、あるいは求められている需要があることに対して、日本人はどうしてもシャイなところがありますので、例えば高齢者の方、障害者の方が来たから席を譲るというのも、なかなか勇気が要するという体験を多くの方がされていると思います。せつかくこういった大きなイベントがあり、一つハードルを越えると、次のハードルを越えやすくなりますので、ボランティア精神を持つきっかけとして、この大会を活用できないかということを考えています。また、PTAの人材がなかなか供給できない、あるいは障害者団体のボランティアが足りない、高齢者をサポートするボランティアが足りない、町会活動をサポートする人が少ない、といった課題を克服する一つの契機にしたいと思っています。

3つ目として、最終的に、まちづくりの理念を変えていこうと考えています。

先ほど、学校は非常に使いづらいという話があつて、全くそのとおりだと思っています。

今、新宿区では、2020年度の中で、ユニバーサルデザインまちづくり条例というものを制定しようと考えています。これは、障害を持っている方、子育て中の方、高齢者の方、外国人の方も含めて、言語対応等のコミュニケーションに様々な課題がある方々が移動に困らない、利用することに戸惑わないで済むように配慮していくという設計思想をまちづくりの中に持っていく、東京2020大会を契機に、新宿のまちづくりが変わったということをも3つ目のレガシーとして残したいと思っています。そして、しっかりと恒久的に、なぜ必要なのかということをご理解いただけるような事業推進をしていきたいと心がけております。

それで、この協議会に、幼稚園、小学校、中学校、また青年の団体の代表といった、様々な団体の皆様にご出席いただいています。ここでの情報共有をもとに、あるいは、皆様が日ごろ活動されているフィールドの中で、こういうことをあの機会にやってみたかった、やってみたい、これまでできなかったが、これをきっかけにスタートしてみたい、そういったご意見をここで吸い上げることによって、具体の事業として立ち上げていきたいと思っています。

そういう意味では、この東京2020オリンピック・パラリンピックに合わせて、文化団体も文化プログラムというものを実施しなくてはならないということがオリンピック憲章の中で定められています。これはやはり、スポーツだけではなく、茶道や華道、新宿の伝統文化で言うと、鉄砲隊、お囃子といった色々な団体がありますが、そうした皆様にも、この機会に、区民の1人として、自分たちもこういうことをなし遂げたという思い出を持っていただきたいと思っています。

そのため、区民がやりたいと思ったことは、なるべく実現していきたいと考え、区民参画基金をもとに、皆様の発想の中で自由な活動をしていただけるようにしていきたいと思っています。

す。

また、この協議会で情報共有を行い、その中で、また皆さんから意見をいただき、それを事業化するというを考えていきますので、ご参加いただいている皆様には、ぜひ様々なご意見をいただければと思います。

**【村岡座長】**

ありがとうございました。

区長考え、区議会の考え、新宿区の考え、非常によく伝わったと思います。皆様方と情報を共有しながら、また皆様方のご意見を賜りながら、この会を進めていきたいと思っています。

今ご紹介いただいた取組みの結果については、この場で共有し、今後も引き続き意見交換をさせていただきたいと思っています。

それでは、次に、次第の4、部会での検討についてです。

前年度は、5月から7月にかけて部会を開催し、自主的な取組みの推進について、各部会で検討していただきました。その結果が、先日の大会500日前記念イベントへの参画や協力に活かされています。

今年度も、各部会において意見交換のうえ、それぞれの知見を活かしたご提案などをいただければと思っております。

それでは、各部会で検討するテーマ案等について、事務局の方から説明をいただきたいと思っています。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

では、資料7「部会における検討テーマ案」をご覧ください。

部会における検討テーマ案ということで、あくまで事務局から提示させていただく案ですが、スケジュールをお示ししています。

部会の開催としては、6月と7月に3回程度の開催を考えています。

そこで検討していただく内容ですが、東京2020大会に向けた気運醸成事業として本年度推進していく取組みについて、昨年度、各部会の皆様にご検討いただき、ご提示いただきました取組みの方向性を踏まえて、より効果的に実施していく手法等について、具体的な議論をしていただきたいと考えています。

普及啓発部会では、大会250日前記念イベントにおける出展コンテンツなどについて、幅広くご意見、アイデア等をいただければと思っています。

また、ボランティア部会についても、大会250日前記念イベントにおけるボランティア活動や新宿2020サポーター等について、ボランティアマインドを2020年以降も残していくためにどういうことをしていくべきかについて、幅広くご議論いただければと考えています。

**【村岡座長】**

ありがとうございます。

それでは、この検討テーマ案につきまして、まず、両部会長からコメントをいただければと思います。

**【鈴木副座長】**

ボランティア部会としては、昨年も色々のご意見をいただきまして、その中で、ボランティアアフォーラム2018等区主催のイベントにおいて、ボランティア活動をする機会の創出など実現してきたものがいくつかあったと思います。今後は、先ほど区長の説明を始め、チラシ等でもご紹介いただいた新宿2020サポーターの募集に向けて、今年度はさらに、ボランティア活動のさらなる活性化やイベントにおけるボランティアのより一層の活躍を目指して、どのようにしていけば良いかということを具体的に提案、協議をしていきたいと思っています。

人づくり、マインドづくり、それが新宿のまちづくりにつながって、継続的に持続できるような取り組みを、皆様と一緒に検討していきたいと考えています。

**【渡邊部会長】**

東京2020大会普及啓発部会としては、先ほど大会500日前記念イベントの話がありましたが、できるだけこの協議会の団体が積極的に取り組むように協力して参画するということに、一つの形ができていたと思います。

この流れを次の大会250日前記念イベントにおいてより活性化させる。また、カウントダウンイベントだけではなく、開催が近づくにつれてこういったムードをより一層高めていくところだと思いますので、それに対する具体的な提案等ができるよう協議していきたいと思っています。

**【村岡座長】**

ありがとうございました。

部会は6月、7月に3回予定されていますが、部会で検討した結果については、次回8月、9月あたりに予定されている協議会の場で報告していただくとともに、これからの区の実組みに還元していただければと思います。ありがとうございました。

それでは、次に、次第の5、区からの情報提供についてです。

前回、この協議会が開かれたのは、2018年12月でした。それから半年近くたち、大会に関する新しい動きも出てきたと思います。大会に関する情報共有は、この協議会の設置目的の一つでもあります。各団体の今後の取組みにも関わってくると思いますので、大会に関する情報提供を議題の一つとさせていただきます。そして、現時点における大会に関する情報をこの場で共有したいと思います。

事務局から説明をお願いします。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

それでは、説明させていただきます。

始めに、都市鉱山からつくるみんなのメダルプロジェクトについてです。今年の3月末でプロジェクトとしての回収は終了しました。

新宿区で回収した小型電子機器としては、約200トンです。そこから、資源化、すなわち金属として抽出されることが想定される量として、金が約6.0キログラム、銀が約31.0キログラム、銅が8,187.3キログラムという量になります。

携帯電話等であれば、金はIC等に入っていて、銀はコンデンサー、銅は回路基板等に広く

使われています。若干イメージしづらいと思いますが、例えば、金メダルでは主成分が銀になっており、1個当たり6グラムの金メッキをするということになっています。よって、単純計算すると、6キロの金があれば、1,000個ぐらいの金メダルが作れるということです。実際は、金メッキをするときの溶媒には非常に多くの量の金が必要ですが、概ねそれぐらいの量の金が集まったという結果です。組織委員会のプレスリリースによれば、3月末までで納入量の目標値を達成できる見込みであるとのことです。

続いて、東京2020大会のピクトグラムについてです。オリンピックは50種類、パラリンピックは23種類のピクトグラムが、3月12日に発表されました。

競技のピクトグラムは、1964年の東京オリンピックで初めて使われたものです。非言語のコミュニケーションツールとして、1964年に誕生したピクトグラムをベースにして、東京2020大会のピクトグラムが新たに作成されたものです。

オリンピック競技は全33競技ですが、ピクトグラムの種類としては50種類あります。例えば、新国立競技場で実施される陸上競技としては、フィールド種目やトラック種目、マラソン等がありますが、陸上競技のピクトグラムとしては、1つに集約されています。それに対して、自転車競技は1つの競技ですが5つの種目の絵に分かれているというものもあります。また、馬術については、3つの種目ということで、ピクトグラムが分かれて作られています。

それから、聖火リレーについてです。

オリンピックとパラリンピック、それぞれにコンセプトやエンブレムが策定されました。

オリンピックについては、「Hope Lights Our Way 希望の道を、つなごう。」というスローガンです。

パラリンピックについては、「Share Your Light あなたは、きっと、誰かの光だ。」というスローガンです。

トーチは両方同じデザインになっていますが、金属の色が若干異なります。オリンピックのトーチは桜ゴールドという色で、パラリンピックのトーチは桜ピンクという色です。また、トーチの原材料には、東日本大震災の仮設住宅由来の再生アルミニウムが使われています。

聖火リレーの実施期間、実施スケジュールとしては、オリンピックが来年の3月26日から7月24日まで、パラリンピックが8月13日から8月25日の13日間となっています。オリンピックの聖火リレーのスケジュールですが、東京都内を回るのは、7月10日から7月24日までの15日間です。パラリンピックについては、詳細は未定です。

続いて、東京2020ライブサイトの基本計画についてです。

こちらは、東京都オリンピック・パラリンピック準備局の基本計画です。ライブサイトとは、いわゆるパブリックビューイングに加えて、パートナー企業のブースや競技体験のコーナーが設置されたイベントのようなものですが、都内では5会場で開催される予定です。そのうち、新宿区内では、ターミナル駅周辺の東京2020ライブサイトとして、東京都庁舎で実施される予定です。

一方で、各区市町村が実施する場合は、コミュニティライブサイトという枠組みで実施する

こととなっています。新宿区内でのコミュニティライブサイトの実施については検討していますので、今後の区民協議会で報告したいと思います。

それから、チケット販売についてです。

オリンピック観戦チケットの抽せん申込み受付は、既に5月9日からスタートしています。期限が5月28日まで、抽せん結果の発表が6月20日、購入手続が7月2日までというスケジュールになっています。

続いて、東京2020大会のシティドレッシングと大規模展示物の基本計画についてです。

こちらも、東京都オリンピック・パラリンピック準備局の計画です。大きくは、シティドレッシングと大規模展示物に分かれます。

シティドレッシングとは、例えば、商店街等のフラッグやバナーの掲出などがこれに該当しますが、主要幹線道路やラストマイル等で実施されることとなっています。なお、ラストマイルというのは、競技会場の最寄り駅から競技会場の入り口までの道のりのことです。新宿駅周辺の都道や国立競技場周辺の道路でフラッグ等が掲出されるという計画になっています。

他方、大規模展示物は、オリンピック・パラリンピックシンボル、いわゆる五輪のマークや大会エンブレム、大会マスコット等です。設置場所について、新宿区内では、東京都庁舎にミライトワとソメイティの像が設置される予定です。

**【村岡座長】**

ありがとうございました。

何か委員の方々から、ご意見あるいはご質問等ございますでしょうか。

**【委員】**

部会に関することでお聞きしたいのですが、資料5に新宿2020パレードという記載がありますが、このイベントについて、団体やボランティア等の参加があると思います。早目に情報提供や依頼をいただければ、各団体も動きやすいと思いますので、現時点で詳細がおわかりでしたら教えてください。

**【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】**

ありがとうございます。

こちらは、現在のところ、令和2年3月29日に実施する予定で進めているものです。およそ20年前に、内藤新宿300年記念事業のファイナルパレードとして、区内にある神社のおみこしが一堂に新宿通りに集まり、パレードをするイベントを行いました。そういったイメージで、新宿通りを区内の伝統的なおみこしが練り歩くというイベントを想定しています。

ご指摘のとおり、かなり大規模なイベントとなる予定ですので、新宿2020サポーターの皆様にも、この中で活躍をしていただきたいと思います。

具体的な実施内容ですが、7月頃から、地元の皆様や関係機関と一緒に実行委員会をつくり、内容を検討していく予定ですので、その検討が進み次第、詳細を報告させていただきたいと考えています。

**【村岡座長】**

どうもありがとうございました。

何とか時間までに終了することができまして、皆様方のご協力に感謝申し上げます。

それでは、本日はここまでとします。

次回の協議会もどうぞよろしく願いいたします。

<閉会>